

講座1 講演：「みんな違ってみんないい」～地域生活のススメ～



<講座内容>

「みんな違ってみんないい」～地域生活のススメ～というテーマで、郡山市社会福祉協議会障がい者基幹相談支援センターの相談支援専門員 鈴木 康弘 様より講演をいただきました。

福祉施策の動向と変化や地域生活における支援体制、ライフステージを見据えた様々な年代でのつなぎについて分かりやすくお話しいただきました。また、日々変化する障がい者の生活を支える仕組みや基幹支援センターの役割、就労定着支援の概要、ネットワークを意識したチーム支援のしくみなどについても学ぶことができました。

「地域の中で障がい者を支えるのではなく、障がい者が暮らす地域を支え合う関係づくり」「まずはその人らしさを見て、障がいとの関係を見て援助していくこと」の大切さについて解説いただき、さらに、「さまざまな視点から気づきを増やしていくことで見えてくること」、「一人で抱えず多くの機関で連携することによってよりよい地域生活につながる事」についても教授いただくなど、内容の濃い充実した研修の機会となりました。

～参加者の感想より～

- ・福祉の方のお話を聞いたのは初めてでした。地域や福祉とのつながり方や支援体制を知る機会となりました。
- ・福祉と教育との考え方の違いを知り、異業種間の交流は必要なのだと改めて感じました。
- ・行政、医療、教育、福祉の連携の大切さを知ることができました。もっと広い視野をもち、障がい者本人の目標のためにどうすべきかを考えていきたいです。
- ・卒業後、どんな生活をして、どんな課題があるのかを考えることができました。
- ・成人期に向けてどのような支援があるのか、福祉と教育とのつながりの大切さなど、普段は意識していない部分の講義でした。自分の視点がとても狭い、限られたものであることを改めて感じました。どことどのようにつながっていけばいいのか、考えていく良い機会でした。